





申請者 (続き)

12. 父親または保護者 1 の氏名

父親または保護者 1 の旧姓 (該当する場合)

13. 母親または保護者 2 の氏名

母親または保護者 2 の旧姓 (該当する場合)

パートナー

1. 氏

2. 名

3. 性別

女

男

4. 国籍

5. オーストラリア居住状況 (居住者、又は非居住者)

6. 職業

7. 住所

都道府県

郵便番号

国

8. 離婚歴

あり

なし

ありと回答した場合、婚姻終了の理由

9. 出生地 - 州・準州及び市・町名を明記してください。(オーストラリア国外で生まれた場合は国名も記載)

10. 出生日

18 歳未満の場合法的許可の詳細

11. あなたと相手方は親族ですか？

はい

いいえ

はいと回答した場合、具体的関係

12. 父親または保護者 1 の氏名

父親または保護者 1 の旧姓 (該当する場合)

13. 母親または保護者 2 の氏名

母親または保護者 2 の旧姓 (該当する場合)



私は、上記の情報は正しいことを申告し、また下記のような婚姻障害がないことを信じます。

- (a) 他の者と正式な婚姻状態にある;
- (b) 婚姻を禁止された親族関係にある;
- (c) 下記の理由により、本質的に婚姻に同意していない:
  - (i) 強迫、詐欺によって同意を強要された
  - (ii) 相手方が別人だった、または執り行った結婚式の性質に問題がある
  - (iii) 結婚式の性質及び影響を弁識するに足る精神的な能力が欠如している
- (d) 婚姻適齢に達していない;

そして、この宣言の中で供述された内容は各項目すべてにおいて真実であることを信じ、故意に虚偽の供述をした者には 1959 年制定 *Statutory Declarations Act* に基づき罰則が与えられることを理解した上で、厳粛に宣言します。

宣誓者署名

(署名)

申請日

宣誓場所

証人署名\*

(署名)

証人氏名

証人役職名

\*1959 年制定 *Statutory Declarations Act* の改正に基づき、宣誓供述に立ち会う資格を有する証人は、警察署長、駐在または特別判事、有給判事、他の年給を受け取る判事、JP、オーストラリア又はオーストラリア領諸島の法律の下、宣誓供述の認証資格のある者、1959 年制定の *Statutory Declarations Act* (改正) 又は *State Act* の下、宣誓供述官として是認された者 ; 1911 年制定の *Statutory Declarations Act*、あるいは同法改正の下、宣誓供述官として是認され、1959 年制定の *Statutory Declarations Act* が施行される直前まで公職にあった者、公証人、宣誓がされる州の法に基づき宣誓供述を認証出来る者、オーストラリア国外の国や地域の大使館や公使館、他の公館における総領事や領事、副領事、貿易担当コミッショナー、領事担当者、大使、公使、公館代表、コミッショナー、代理大使 (公使)、参事官、書記官、随行官のいずれかとなる。

申請者連絡先

(申請に関し確認が必要な場合のために、連絡先詳細をご記入ください。)

電話番号

他の電話連絡先 (勤務時間外や携帯番号など)

メールアドレス